

朝倉小学校 適正規模地区委員会だより

朝倉小学校適正規模地区委員会 平成27年6月1日 No.2

第2回「朝倉小学校適正規模地区委員会」を開催しました

5月14日(木)に「第2回朝倉小学校適正規模地区委員会」を開催しました。年度が改まり、2名の委員が交代となりました。

今回の委員会では、教育委員会事務局より適正規模の基本的な考え方と共に、学校規模によるメリット・デメリットについての説明がありました。その後、前回の協議をさらに深め、主に天神小学校との統合の是非と課題、今後の進め方について話し合いました。その内容は、以下のとおりです。

○新地区委員

・朝倉町四丁目自治会長 狩野 教治 ・前橋市立朝倉小学校長 金井 高弘

○小規模によるメリット・デメリットについての説明(教育委員会より)

- ・メリット:「きめ細やかな指導が行いやすい」「ひとりひとりの個別の活動機会を設定しやすい」「人間関係が深まりやすい」「異学年との交流が生まれやすい」「学校が一体となって活動しやすい」等
- ・デメリット:「切磋琢磨する機会が少なくなりやすい」「学級間相互の啓発がなされにくい」「集団で行う教育活動に制約が出やすい」「多様な学習形態や指導体制がとりにくい」「人間関係が固定化されやすい」「子ども一人あたりの経費負担が大きくなりやすい」等

○協議内容

(1) 統合の是非と課題について

<主な意見>

- ・多様な人間関係を育む中で、集団のルールを学んだり、社会性を高めたりするには、ある程度の学校規模があった方がよい。
- ・小規模校のよさを生かしている事例もあるので、それも調べた方がよい。
- ・今の規模では、各学年1クラスであり、一度もクラス替えを経験することなく中学生になるのは残念だ。
- ・この委員会では、およそ統合に賛成であるが、もっと広く意見を聞く必要がある。
- ・統合によるデメリットもしっかりと調べ、対応策や子どものケアの準備をすることが大切だ。
- ・既に統合した学校や統合が決まっている学校の様子を知りたい。
- ・日赤の移転に伴う交通安全等の対策も合わせて考えなければならない。

(2) 今後の進め方について

<主な意見>

- ・より広く意見をもらうため、アンケートなども考えられるが、実施するならば、しっかりと考えて回答いただけるよう、内容について検討する必要がある。
- ・具体的な課題や保護者の不安をとらえ、それを解消するための検討をさらに行うことが必要である。
- ・まずは、保護者の考えをまとめることが大切である。

○次回の開催について

- ・アンケートの内容・実施について検討する。

* 協議の概要は今後も、この「地区委員会だより」で保護者や地域の方々に報告してまいります。そして、地区委員会では、保護者や地域の方々のお考えを生かしながら検討を進めていこうと考えておりますので、何かご意見がございましたら、地区委員または学校までご連絡ください。

◆ 「前橋市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」は教育委員会ホームページでご覧いただけます
(<http://www.city.maebashi.gunma.jp/kurashi/230/257/004/p003248.html>)

<「地区委員会だより」も後日ホームページ上に掲載いたします>

◆ 問い合わせ: 前橋市教育委員会事務局 学校教育課教育企画係 電話: 898-5865 FAX: 221-3418